

土と基礎

2019年7月号 第67巻第7号

地盤工学会誌

特集

平成30年7月 西日本豪雨災害

Geo-disasters in 2018 July West Japan
Torrential Rainfall

- 編集委員長：渦 岡 良 介
- 企画・編集グループ：福 永 勇 介（主査）
- 本号特集担当編集委員：山 口 健 治（主査）

井 口 雄 介 倉 田 大 輔 酒 井 崇 之 宮 下 千 花 吉 田 泰 基
藤 原 優 佐 々 木 泰 典 加 島 寛 章 梶 藤 宏 樹

- 講座委員長：若 井 明 彦 委員兼幹事：伊 藤 壱 記・中 道 洋 平

本号の編集にあたって

2018年6月28日から7月8日にかけて、西日本を中心に北海道や中部地方を含む広い範囲で集中豪雨が発生しました。一連の豪雨により、多くの地域で河川の氾濫や浸水害、斜面崩壊や土石流が発生し、住宅地のみならず鉄道や道路等のインフラへの甚大な被害により長期間の交通障害を引き起こしました。その一連の豪雨について、2018年7月9日に気象庁が平成30年7月豪雨と命名しています。

我が国の国土の大半は山地・丘陵地が占める急峻な地形であり、また河川が急勾配であることから豪雨による災害リスクが高いことが知られています。また近年では、気候変動の影響により災害被害が甚大化しています。そのような我が国を取り巻く状況下で平成30年7月豪雨の被災事例を調査・研究することは今後の地盤防災・減災のあり方を考えるうえで有用と思われます。

このような背景を踏まえ本号の特集では「平成30年7月西日本豪雨災害」と題しまして、2018年7月以降に西日本を中心とした各地域で行われた調査活動・結果を報告致します。

総説では、広島県の災害事例を参考にして「平成30年7月豪雨」の災害の特徴と地盤工学的課題を詳説して頂きました。7編の報告については西日本を中心とした各地域の被災状況とその特徴や、多様な専門分野を横断する学協会が連携した合同調査の実施状況と施設管理者を交えたパネルディスカッションの概要を執筆頂きました。

平成30年7月豪雨発生から1年を経過しており、読者の皆様が振り返る機会を提供できればと考えています。本号の特集が読者の皆様にとって有益なものになることを願っております。

井 口 雄 介（いぐち ゆうすけ）

地盤工学会のホームページ URL <https://www.jiban.or.jp/>

国際地盤工学会ホームページ <http://www.issmge.org/>

編集兼発行者：公益社団法人 地盤工学会

CONTENTS

2019
7

地盤工学会誌

Vol.67 No.7 Ser.No.738

土と基礎

* HP…<http://u0u1.net/EDoR>

口絵写真
(*HP)

報告：平成30年7月豪雨で九州地域に生じた地盤災害と課題

特集テーマ：平成30年7月西日本豪雨災害

総説	2018年7月の西日本豪雨による土砂災害の特徴 1 ●土田 孝
報告	岐阜7月豪雨における災害協力協定に基づく合同調査 4 ●沢田 和秀／中井健太郎
	近畿地方の平成30年7月豪雨における地盤災害の特徴 6 ●芥川 真一／鏡原 聖史
	平成30年7月豪雨での地域ごとの地盤災害の特徴（中国・広島その1）10 ●橋本 涼太／森脇 武夫／土田 孝
	平成30年7月豪雨での地域ごとの地盤災害の特徴（中国・広島その2）14 ●土田 孝／森脇 武夫／後藤 順治／今井 卓也／川本 暁／橋本 涼太
	平成30年7月豪雨における岡山の土構造物及び斜面の災害18 ●西村 伸一／竹下 祐二／柴田 俊文／小松 満／珠玖 隆行／金 乗洙
	平成30年7月豪雨による愛媛県における土砂災害の特徴22 ●森 伸一郎
	平成30年7月豪雨で九州地域に生じた地盤災害と課題26 ●村上 哲／安福 規之／廣岡 明彦／末次 大輔／酒匂 一成／廣渡 幸大
技術紹介	半導体センサを用いた土中水分分布の計測技術30 ●小松 満／二川 雅登／藤原 優／田岸 宏孝
	不均質な堆積層中の水みちを探索する温度検層装置の開発32 ●後藤 和幸／鈴木 誠／竹内 真司
寄稿 (学生編集委員)	四国横断自動車道吉野川大橋（仮称）の現場見学について34 ●榊藤 宏樹
学会の動き	エネルギーに基づく液状化予測手法に関するシンポジウム開催報告36 ●エネルギーに基づく液状化予測手法に関する研究委員会
国内の動き	富樫 陽太 会員「平成31年度科学技術分野の文部科学大臣表彰 若手科学者賞」を受賞37

複写をされる方へ

地盤工学会は下記協会に複写に関する権利委託をしていますので、本誌に掲載された著作物の複写をご希望の方は、同協会より許諾を受けて下さい。但し（公社）日本複製権センター（同協会より権利を再委託）と包括複写許諾契約を締結されている企業等法人による社内利用目的の複写はその必要はありません（社外頒布用の複写は許諾が必要です）。
権利委託先：一般社団法人 学術著作権協会

〒107-0052 東京都港区赤坂 9-6-41 乃木坂ビル 3F

FAX：(03)3475-5619 E-mail：info@jaacc.jp

なお、複写以外の許諾（著作権の引用、転載、翻訳等）に関しては、（一社）学術著作権協会に委託しておりません。直接、地盤工学会（連絡先は本文最終ページに記載）へご連絡下さい。

アメリカ合衆国において本書を複写したい場合は、次の団体に連絡して下さい。

Copyright Clearance Center, Inc.

222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA

Phone: 1-978-750-8400 FAX: 1-978-646-8600

技術手帳	原位置せん断摩擦試験（SBIFT）38
	●白井 康夫／前田 良刀／落合 英俊／田上 裕
講座	平野が抱える地盤工学的課題とその対策
	5. 関東平野における地盤工学的課題と対策40
	●安田 進
	地盤工学に関する科学哲学と技術者倫理
	5. 科学史・科学哲学とパラダイム（前編）48
	●森田 邦久
	会告：地盤工学会活動支援 醸金のお礼・新入会員56
	編集後記57

CONTENTS

2019
7

Geotechnical Engineering Magazine

Vol.67 No.7 Ser.No.738

The Japanese Geotechnical Society

Editor-in-chief

Ryosuke Uzuoka

Akihiko Wakai

Project Editor

Yusuke Fukunaga

Issue Editor-in-chief

Kenji Yamaguchi

Editors

Yusuke Iguchi, Daisuke Kurata,
Takayuki Sakai, Yukika Miyashita,
Taiki Yoshida, Yu Fujiwara,
Yasunori Sasaki, Hiroaki Kashima,
Hiroki Masuto

Theme Geo-disasters in 2018 July West Japan Torrential Rainfall

Characteristics of Landslide Disasters in 2018 July West Japan Torrential Rainfall	1
● Takashi Tsuchida	
Joint Investigation based on Cooperation Agreement on Disaster for Heavy Rain in Gifu Prefecture	4
● Kazuhide Sawada and Kentaro Nakai	
Sediment Disaster of the Kinki District Caused by a Heavy Rain of July, 2018	6
● Shinichi Akutagawa and Satoshi Kagamihara	
Regional Characteristics of the Geodisasters: Hiroshima Area, Part1	10
● Ryota Hashimoto, Takeo Moriwaki and Takashi Tsuchida	
Regional Characteristics of the Geodisasters: Hiroshima Area, Part 2	14
● Takashi Tsuchida, Takeo Moriwaki, Jyunji Goto, Takuya Imai, Akira Kawamoto and Ryota Hashimoto	
Disaster of slopes and Geo-structures in Okayama	18
● Shin-ichi Nishimura, Yuji Takeshita, Toshifumi Shibata, Mitsuru Komatsu, Takayuki Shuku and Byeongsu Kim	
Features of Landslide Disasters in Ehime Prefecture	22
● Shinichiro Mori	
Geo-disaster and Geotechnical Issues related to 2018 July Heavy Rain in Kyushu	26
● Satoshi Murakami, Noriyuki Yasufuku, Akihiko Hirooka, Daisuke Suetsugu, Kazunari Sako and Yukihiro Hirowatari	